

「無いことを嘆くのではなく、あることを喜びとして」

NPO 法人焼津育成の会野いちごは、法人化から 5 年が経過し、今年の総会后にささやかなお祝いの会を予定しています。皆さんも参加して楽しい会にしましょう。

私は、この 5 年間、副理事長・事務局長として、内 2 年間は職員としても田村理事長の下で仕事をさせていただいてきました。振り返れば、楽しくもあり大変であったことを少し書かせていただきます。

6 年前、焼津市手をつなぐ育成会は、小規模授産所「野いちご」を NPO 法人化するために勉強会に参加するなどして準備してきました。大きな社会福祉法人に吸収してもらう手もあったでしょうが、「私たちの手で運営ができるように」と自立の道を選びました。私は、藤枝特別支援学校最後の年で、退職後に仕事を引き継ぐこととなりました。平成 21 年 4 月までに法人化、事業所認定はできていましたが、建物で言えば柱と屋根が建った程度で、壁を塗り調度を整えるなど住めるような家にするにはやらなければならないことがたくさんありました。

事業収入の手続きはパソコンで申請します。しかし、4 月の段階でパソコンはありましたがインターネットの接続ができていませんでした。急ぎ知り合いに頼み、適切な契約を教えてもらい、業者に手続きをしました。申請書類は郵送されてきますが、郵便受けが買ったままになっていて設置してありません。借用建物のタイル壁にどうして付けるかが一苦勞でした。また、申請マニュアルを読みながらなんとか手続きができるようになりましたが、事業収入の入金は 2 か月後で、その間の運営資金数百万円がないことが分かりました。貸してくれる金融機関もなく、代表役員で 1 年間立て替えるということもありました。その他のことも同様で、分からないことを確認したり聞いたりしながら手探りで事業所としての体裁を整えていきました。意見が合わずに離れて行く職員や利用者があったことは大変残念なことでした。

野いちごは、ないない尽くしでスタートしましたが、5 年間で安定した運営ができるようになり、本当に良かったと思います。まだまだ足りないことはありますが、「ないことを嘆くより、あることを喜びとして」盛り上げていきたいと思っています。私たちの「野いちご」は、「私たち(法人会員)の手で運営する」事業所です。知恵を出し合い、協力してますますよい事業所、法人にしていきましょう。

(副理事長・事務局長 櫻井 隆)

